

植物観察記録

2025・4・11 そら組 野草料理 新人歓迎会
午前 10 時 45 分から 11 時 30 分

(観察草本20種)

《講師》 専任講師 岡田弘 先生
《参加者》 新入生 7 人他 《写真提供》 中村亀雄
《場所》 淀川大塚河川公園 《記録》 大村春美

オオイヌノフグリ	種の形が犬のふぐりに似ている。花びらの一枚で色の薄い部分に蜜腺あり。自家受粉出来る。一日花。
ギシギシ	葉柄在り。食べられる新芽はネバネバする。別名オカジュンサイ
スイバ	葉は尖る。葉柄なし。冬に赤くなりアントシアニンを出し、凍らない。
セイヨウタンポポ	葉は柔らかく、茎短く、自家受粉出来る。野菜として入ってきた。
ナズナ	別名ペンペン草。おひたしに。
トゲミノキツネノボタン	毒有り。種に棘有り。短く這っている。
ミミナグサ	茎固く赤い。葉や茎に毛が生えている。
ハコベ	茎柔らかい。5弁の花びらが割れているので10弁に見える。
ヒメオドリコソウ	シソ科。十字対生。茎に稜有り。花が横から見ると踊って見える。
ムラサキサギゴケ	苔のように地べたを這うから。類似のトキワハゼは色薄く、茎長くて立つ。
スズメノカタビラ	イネ科。乾燥に強い。小さい雀の帷子(衣服)に似ている。
ヤブガラシ	よく茂り、他を枯らして、日当たりを悪くしてしまう。
ニセカラクサケマン	毒草。葉が唐草模様に似る。お寺の上の生花代わりの四角い華鬘に似る。
ノイバラ	枝をリースに使える。春先には新芽を食べることも出来る。
クズ	新芽を天ぷらに。
セイヨウカラシナ	葉の付け根の葉茎は巻かず、細い柄が出る。和からしにもなる。
ノジシャ	先が二股に分かれる。西洋のサラダ菜の野生化。西洋では栽培している。
ヤエムグラ	群がって伸びる。二葉、四葉(山に多い)六葉などあり輪生。茎に下向きの棘有り、四稜あり。
ナヨクサフジ	つる性のマメ科。帰化植物。花と葉の先端は食べられる。
シロツメグサ	オランダから陶器の梱包の緩衝用として入った。

所感

泥のついた野菜さえも中々見かけない昨今、一から洗い、あく抜き、味付けなど、準備がどれ程大変だったかと美味しく味わいながら新入生同士皆で喜び合いました。

野草一つ一つの生まれ方、生き方、次へのつなぎ方など、岡田先生のご説明をお聞きしての感動。そして振る舞って下さった先輩達への感謝は、本当に忘れられません。ありがとうございました。

